

令和5年度第3回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和5年6月21日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）
大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長）
オブザーバー : 市原 拓（岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長）
事務局 : 八代 英彦（感染症対策推進課 管理監）
可知 正行（感染症対策推進課 主任技師）
今尾 幸穂（保健環境研究所 疫学情報部長）
岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：澤田委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○最近の各種感染症流行に対する予防啓発の手法について
（事務局から）

新型コロナウイルス感染症以外にも各種感染症が最近流行しており、予防啓発のため、流行状況等についての情報を外国籍の方も含めひろく県民の皆さんに伝えてまいります。

（委員から）

- ・情報を提供する場合、その対象を明確にすることが重要だと思います。例えば、小児感染症の場合は県内の保育園及び幼稚園を通じて、外国籍の方に向けての場合は所属される協会などを通じて情報提供を行うなど、その手段を考えることが必要だと思います。
- ・結核についても、外国籍の方へ情報提供するルートを確保することが重要だと思います。